



2019年11月14日

ゴールドステアリングホイール賞を Audi A1 と Audi e-tron が受賞

- 『Auto Bild』とその提携誌、『Bild am Sonntag』の読者が最終選考モデルを選び、国際的な審査委員会が受賞車を決定
- 7つのクラス、58のモデルの中から、アウディが2つのクラスでアワードを受賞
- 電気自動車の Audi e-tron が、内燃エンジンを搭載したライバルを退けて1位を獲得

2019年11月12日インゴルシュタット/シュトゥットガルト：2019年の「ゴールドステアリングホイール賞」が発表され、アウディが2つのクラスでアワードを受賞しました。Audi A1 Sportback は、「スモールカー」クラスで、電気自動車の Audi e-tron は、「大型 SUV」クラスで、それぞれ最も高い評価を獲得しました。最終選考にノミネートされたモデルは、ドイツの自動車雑誌『Auto Bild』（アウトビルト）、ヨーロッパで発行されているその提携誌、ドイツの日刊紙『Bild am Sonntag』（ビルト アムゾンターク）の読者投票によって選ばれました。最終選考に残ったモデルは、国際的な審査委員会によって評価され、それぞれのクラスの優勝モデルが決定しました。

11月12日にベルリンで行われた授賞式で、AUDI AG 技術開発担当取締役のハンス-ヨアヒム ローゼンピエラーは、次のように述べています。「荣誉あるアワードを2つのクラスで受賞することができて、大変光栄です。ゴールドステアリングホイール賞は、自動車業界の人間であれば、誰もが欲しいと思っている賞です。特に、電気自動車の Audi e-tron が、内燃エンジンを搭載した従来型のクルマを退けて1位を獲得したことを嬉しく思っています。これは、私たちの電動化戦略が、正しい軌道に乗っていることを証明するものです。Audi A1 の受賞は、私たちが市場に投入した新世代のクルマが、多くの人々に支持されたことを示しています」

今年の「ゴールドステアリングホイール賞」では、2018年10月以降に発売された58のクルマが7つのクラスに分けられて、読者投票の対象となりました。その後、最も多くの票を獲得した各クラスの上位3台が、最終選考へと進みました。21台のモデルによる最終選考会は、DEKRA ラウジッツ サーキット（ユーロスピードウェイ）で行われました。ここでは、国際的な審査委員会が、『Auto Bild』誌の比較テストに使用されるポイントシステムの改訂版に基づいて、各モデルのテストを実施しました。審査委員会には、レースドライバーのマティアス エクストロム、元F1ドライバーのハンス-ヨアヒム シュトゥック、司会者のシドニー ホフマンに加え、『Auto Bild』、その提携誌、『Bild am Sonntag』の専門家が参加しました。

「ゴールドステアリングホイール賞」を獲得した2台のモデルは、日常ユースにおいても優れた実用性とパフォーマンスを備えています。Audi A1 Sportback は、市街地だけでなく、ロングドライブでも理想的なパートナーになります。インフォテインメントおよびドライバーアシスタンス システムに関しては、上位クラスと同等の装備を備えています。「大型 SUV」クラスでは、Audi e-tron が、他の内燃エンジン搭載車を抑えて1位を獲得しました。この電気自動車は、広々とした室内と優れた快適性、毎日のドライブに適した航続距離を融合しています。電動 SUV の Audi e-tron は、カメラベースのエクステリアミラーを搭載した最初の量産車で、高出力充電に対応し、最新世代の quattro テクノロジーである電動4輪駆動を搭載することによって、アウディのスローガンである「Vorsprung durch Technik」（技術による先進）を具現しています。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。